



令和3年度豊平区防災訓練の「受付模擬訓練」のようす

1～4でお伝えした内容を踏まえながら、災害時に実際の避難所となる豊園小学校で行った防災訓練のうち、受付模擬訓練のようすをお伝えします

待機、受付の開始、手指消毒・検温

①避難者が整列し、待機。運営者が避難所の準備状況や受付開始を案内します



②受付で手指消毒、検温を行います



一般受付から臨時受付へ

③一般受付で熱のあった方、濃厚接触者の方は臨時受付で再度、検温と聞き取り



④聞き取りの結果を受け、感染症室へ移動し滞在



一般受付から体育館・福祉避難スペースへ

③健康な方は、滞在スペースに移動距離をとって寝袋・毛布を敷き、滞在スペース番号をつける



④要配慮者のうち、ベッドが必要な方などは福祉避難スペースに案内



美園地区町内会連合会の皆さま、ほか各地区町内会連合会の皆さま訓練にご協力いただき、ありがとうございました

<お問い合わせ先> 豊平区市民部総務企画課地域安全担当係

☎011-822-2405 FAX 011-813-6585



コロナ禍における

「令和3年度豊平区防災訓練」実施結果のご報告

発行：令和4年3月

避難所の開設

豊平区市民部
総務企画課
地域安全担当

令和3年度の「豊平区防災訓練」は令和4年1月12日 美園地区の豊園小学校にて、「**避難所の開け方**」「**避難所を開けた後にすること**」「**コロナ禍での受付方法**」を体験・理解することを目的に実施しました。その内容を地域の皆さまにもご報告いたします！

*この報告では、内容を要約してお伝えしています。詳細は「札幌市避難所運営マニュアル」および「避難所運営マニュアル(別冊)新型コロナウイルス感染症への対応に係る補足事項」でご確認ください



はじめに／避難所の運営には、地域の皆さまの力が不可欠です



職員が避難所に到着するまで

- 避難所は、原則市職員が中心となり、地域の皆さまの協力を得て開きます
- ですが、職員の被災状況により、地域の皆さまが先に到着する場合があります



避難所を開くにはいろいろな準備が必要

- コロナ禍の影響で避難所開設の準備事項が増えています
- また、一つの避難所につき市職員は4名程度のため、迅速な避難所の開設と運営には、まちのことをよく知る地域の皆さまの力が不可欠です



写真出典：(左)財団法人消防科学総合センター、(右)環境省災害廃棄物対策情報「平成30年北海道胆振東部地震における災害廃棄物について」

1

避難所の開け方 ~皆さんが先に到着した場合~

全ての市立小中学校にある「キーボックス」で、避難所の入口を開けることができます

- 避難所の玄関は、キーボックスの中の鍵で開けることができます
- 市職員や学校職員の到着が遅れている場合、建物の状態を確認したうえで、皆さんで開錠してください

キーボックスの使い方 ~「学校開放玄関」もしくは「正面玄関」にあります~

①区災害対策本部に電話し、ボックスを開ける暗証番号を聞き取る



②ボタンを押す



③ハンドルを180度右に回すと鍵が出てきます！



避難所に入る前に！！

2人以上で外観・内部の安全確認をしましょう

- 柱が折れている
- 壁の大きなひび割れ
- 床の大きなゆがみ
- 開かないドアが多い
- ガスのにおいがする
- 体育館の天井が落ちそう

▶▶上記の様な危険を感じたときは他の避難所に移動しましょう！



番号を押し間違えたら、真ん中の大きなボタンでクリアしてやり直し！



豊平区災害対策本部 ☎011-822-2405

2 避難所開設時の流れ

①電気、水道、トイレ、ガス、暖房などライフラインの状況を確認！



※学校ポンプ室のようす／ポンプ室には常時、生活用水が貯水されています

④防災行政無線を使って、区の災害対策本部に避難所開設を報告！



※防災行政無線は職員室にあります

⑤備蓄庫から毛布・寝袋を取り出す！



※避難所の備蓄物資は大きく、重いものが多いので若い世代の協力も大切です

②校舎内の備蓄庫にある「避難所開設セット」や机・椅子等で受付準備！



※「避難所開設セット」は避難所で使う書類・貼り紙などが封入されています

③備蓄品のほか学校の備品なども活用して避難所設営！



※体育館の卓球台を福祉避難スペースの目隠しに使用しました

⑥トイレの水が流せないこともあるので、便袋、凝固剤、し尿ごみ入れを用意！



使用後の便袋は外してから凝固剤を入れ口を縛り、し尿ゴミ箱に捨てます！

※トイレの便座に1枚下地袋を便座にかがせてテープで固定しておきます。その下地袋に個人の便袋をかがせて使います



避難所には毛布と寝袋が300枚、クッキーは300人×3日分あるんだよ！

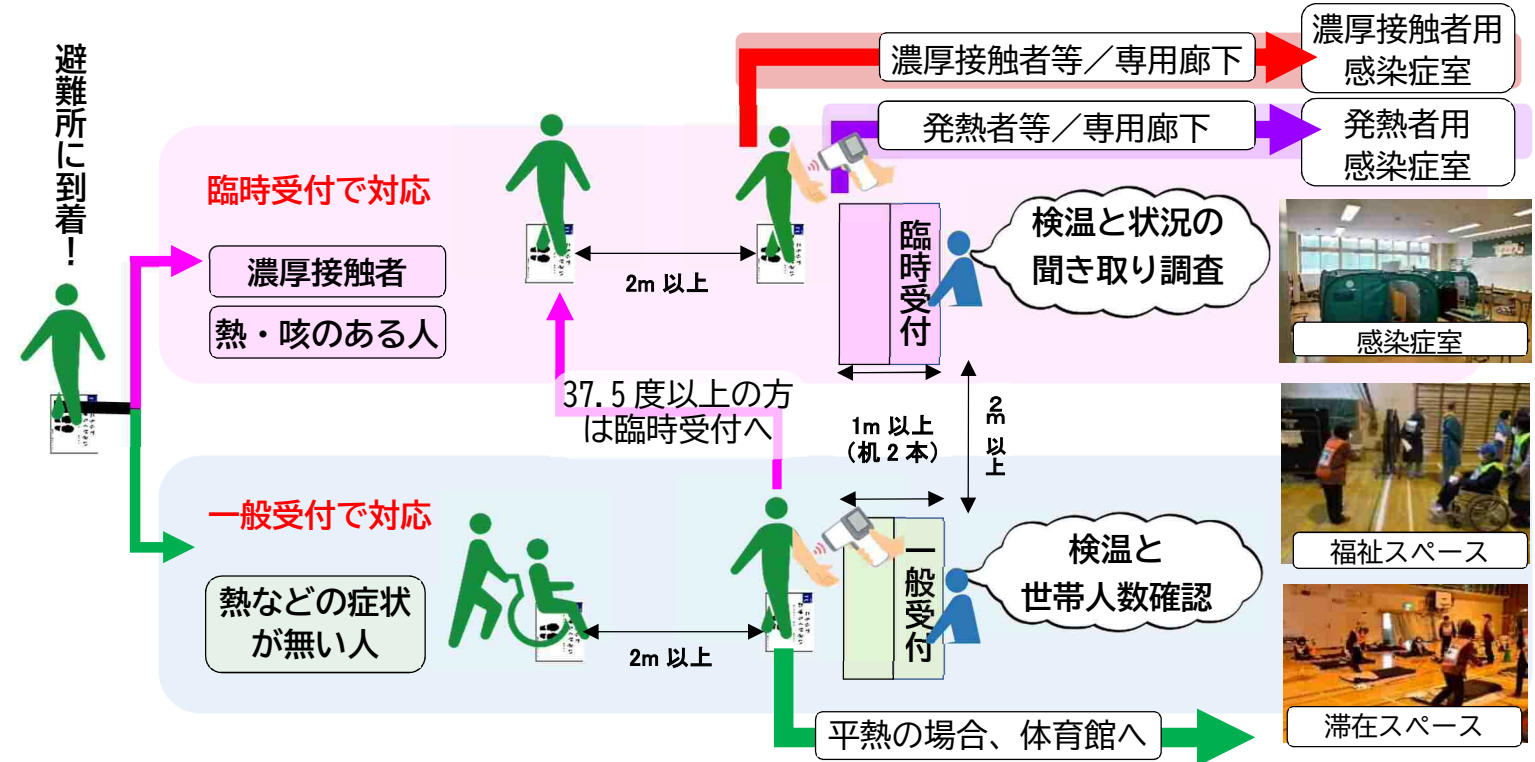
マスク・おむつ等の衛生用品は少しだけ。自分で用意できるように備蓄しておこう！



3 受付の際に気を付けること

新型コロナウイルス感染症に対応した受付の流れ

●感染症室利用者の対応を行う時は、マスクだけでなくフェイスシールドも着用しましょう

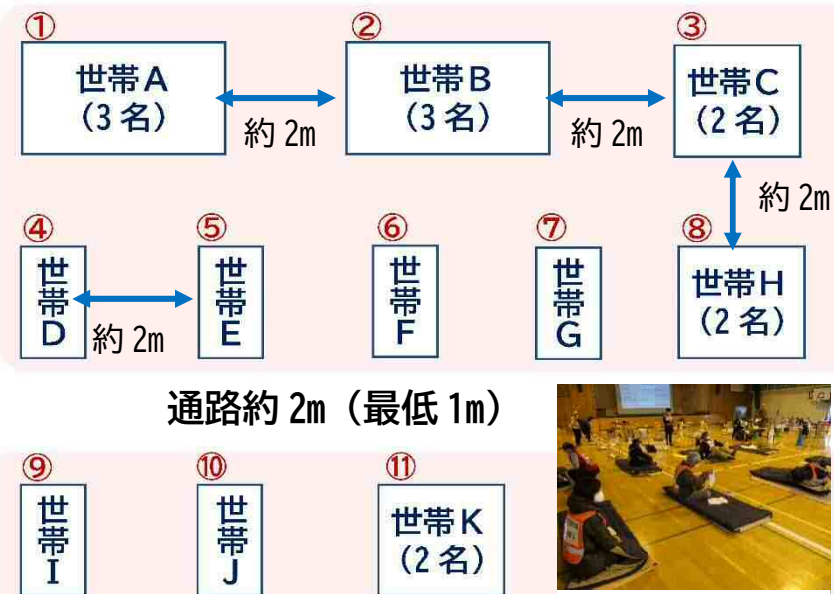


4 状況に応じた滞在スペースが必要です

1) 滞在スペース（体育館）／健康な方の居場所

- 1人のスペースは1m×2m=2㎡
- 世帯と世帯の間隔は2m以上（混雑時は最低1m）です
- スペースに番号を振って、共有します

<滞在スペース（体育館）の区画イメージ>



2) 福祉スペース（体育館の一部、空き教室等）

- 要配慮者（要介護・障がい・妊産婦の方など）のためのスペースを確保し、段ボールベッド等を用意します

3) 発熱者用感染者室（空き教室等）

4) 濃厚接触者用感染症室（空き教室等）

- 発熱者用は主に37.5度以上の熱や咳のある方の専用スペース
- 濃厚接触者用は、自宅待機要請を受けている方の専用スペース
- 3、4両室とも個室が望ましいですが、難しいときは、十分な間隔をとり、遮蔽物を置くことで工夫します

スペースは4種類必要なんだね！



*新型コロナウイルス陽性者の方は避難所には発熱者や濃厚接触者の方は避難できますが、陽性者の方は避難所に滞在できません。陽性者の方は別の部屋に隔離し保健所に速やかにご連絡下さい。専用の宿泊施設への移動を手配します